



平成30年度
西山小学校
学校だより

杉

第6号
平成30年5月10日(木)
文責：笠原 聡

教育目標 ～ 深い雪にも耐え 大空に向かって たくましく伸びる 西山の杉のような子どもを育てる

「楽しかったよ！」 多くの体験ができた遠足

2日(水)に1年生から4年生までの「遠足」を実施しました。今年は、猪苗代方面のコースで行いました。天気にも恵まれ楽しく一日を過ごすことができました。まず、「磐梯高原南ヶ丘牧場」でウサギやヤギ、ヒツジなどの動物とふれあいました。生まれたばかりの子ヤギもいて、とてもかわいらしい姿に子どもたちは喜んでいました。次に、「アクアマリンいなわしろカワセミ水族館」に行き、水辺や水中にすむ生き物、特別展示の食虫植物などを見学しました。魚に触れることのできる水槽もあり、子どもたちは衣服をぬらしながら魚を追っていました。昼食後、午後は「野口英世記念館」を見学しました。野口英世博士の生家を見た後、館内でモニターに流れる映像や展示物などを見学し、子どもたちなりに、野口英世博士がどのような人物なのか知ることができたようでした。保護者の皆様には、準備品等のご協力をいただきありがとうございました。



全校のつどい ～ めあてをもってがんばろう～

7日(月)の全校のつどいでは、本校の「目指す児童像」の中の「しっかり勉強や運動する子ども」「やる気あふれる子ども」について話をしました。

「しっかり勉強や運動をする子ども」とは、どんな子どもでしょうか。それは、めあてをもって、勉強や運動をがんばる子どもではないかと考えています。ですから、全校のつどいでは、「めあてをもってがんばろう」ということで、以下の内容を話しました。

「めあて」とはいったいなんのでしょうか。めあてというのは、自分の「なりたい自分」だと考えてほしいと思います。自分は、「こうなりたい。」「こんなことができるようになりたい。」というように、「なりたい自分」が自分の「めあて」なのです。

そんな「なりたい自分」になるためには、自分ががんばって取り組むこと、努力することを決め、それを続けていくことが大切です。

しかし、「やる気」がなければ、実際に取り組むことも、続けることもできません。では、「やる気」を出すには、どうしたらよいのでしょうか。それは、はじめから難しいことをしないということです。今までより、少しがんばればできるということから取り組み、「できた」「わかった」という達成感を味わうことが大切です。

めあてとそれを達成するために何をするかを決め、それを続けていき「できた」「わかった」が増えていけば、次への意欲（やる気）もどんどん出てきます。

やる気をもって、しっかり勉強や運動に取り組み「なりたい自分」になってほしいと思います。

今後も、「目指す児童像」の実現に向けて、全職員で子どもたちを指導、支援していきます。

＜ 目指す児童像 ＞

- ・ にこにこあいさつする子ども
- ・ しっかり勉強や運動する子ども
- ・ やる気あふれる子ども
- ・ まなび合い高め合う子ども
- ・ つらくてもやりぬく子ども
- ・ こころとからだをみがく子ども